

平成23年度

福岡県における学力・学習状況調査

福岡県学力実態調査の結果を受けて

中学校 授業改善のStrategy

vol.4

児童生徒の実態	2~3
本書の活用の仕方	4
国語	5~8
社会	9~12
数学	13~16
理科	17~20
外国語	21~24

1 学力の実態

(1) 「福岡県における学力・学習状況調査」の結果

■ 各教科区分の平均正答率

小学校	国語A	国語B	算数A	算数B
	78.1	41.8	81.4	44.9
中学校	国語A	国語B	数学A	数学B
	80.0	65.1	59.3	51.9

※ [国語A、算数・数学A]
主として「知識」に関する問題
[国語B、算数・数学B]
主として「活用」に関する問題

※ 平均正答率：児童生徒の平均正答数を設問数で割った値の百分率（概数）

- 小・中学校ともに、A問題に比べB問題の平均正答率が低い状況にあります。
- 国語と算数・数学の平均正答率を比べると、小学校はあまり差が見られませんが、中学校は、数学が国語に比べ平均正答率が低い状況にあります。

(2) 「福岡県学力実態調査」の結果

■ 各教科の平均正答率

<小学校>

	社会			理科		
	全体	知識	活用	全体	知識	活用
期待正答率	53.5	55.0	50.0	62.8	67.6	55.8
平均正答率	47.2	46.9	48.0	61.3	68.4	51.3

<中学校>

	社会			理科			英語		
	全体	知識	活用	全体	知識	活用	全体	知識	活用
期待正答率	50.0	51.1	46.9	51.4	53.6	46.0	60.8	63.7	51.4
平均正答率	46.7	49.5	39.0	51.7	54.7	44.3	62.6	68.9	41.8

※ 期待正答率：学習指導要領に示された内容について、標準的な時間をかけて学んだ場合、正答できることが期待される児童生徒の割合を想定したもの

- 小学校では、社会、理科とも期待正答率を下回っており、社会は5ポイント以上、理科は5ポイントの範囲内の状況にあります。
- 中学校では、理科、英語は期待正答率を上回っています。社会は期待正答率を下回っていますが、5ポイントの範囲内の状況にあります。
- 小学校社会を除き、「活用」に関する問題の平均正答率は「知識」に関する問題の平均正答率より低く、知識・技能を活用する力に課題がみられます。

2 学習状況の実態

(1) 「福岡県における学力・学習状況調査」の結果

■ 家庭学習の状況

児童生徒の平日の家庭学習時間

年度	小学校		中学校	
	1時間以上	全くしない	1時間以上	全くしない
H22	55.8	4.3	61.0	10.2
H23	58.3	4.2	78.8	6.0

家庭学習に関する指導の状況

項目	年度	小学校	中学校
家庭学習の与え方の共通理解	H22	82.5	69.1
	H23	86.3	72.1
家庭学習方法の具体的な指導	H22	82.0	73.6
	H23	85.4	80.3

- 多くの小・中学校において家庭学習の与え方について教員間の共通理解を図り、家庭学習方法を具体的に指導した結果、平日の児童生徒の家庭学習時間が平成22年度に比べ増加しています。
- 平日に家庭学習を「全くしない」児童生徒の原因を分析し、実態に応じた家庭学習の習慣化を検討する必要があります。

■ 児童生徒の授業中の活動状況と教員の指導の状況

児童生徒の授業中の活動状況

項目	年度	小学校	中学校
自分の考えを発表する機会	H22	80.3	76.4
	H23	81.0	74.8
話し合う活動	H22	73.8	53.6
	H23	74.6	52.1
問題の解き方や考えが分かるようなノートの記述	H22	80.6	77.3
	H23	79.3	76.4

(児童生徒質問紙)

教員の指導の状況

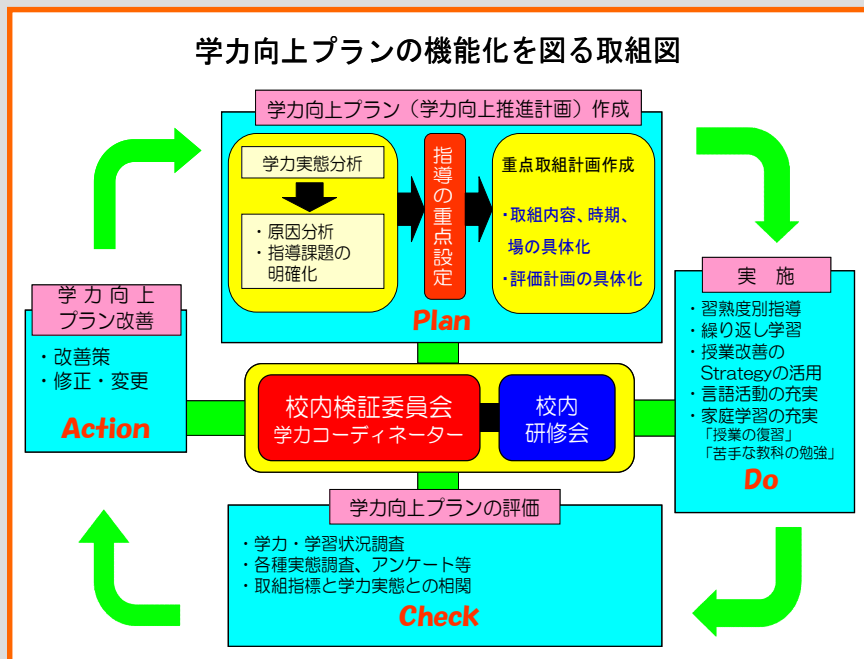
項目	年度	小学校	中学校
考えを引き出したり思考を深めたりする発問	H22	90.3	81.4
	H23	90.6	82.6
発言や活動の時間確保	H22	94.6	86.7
	H23	93.6	87.6
ノートのまとめ方など学習方法の指導	H22	96.8	97.1
	H23	97.3	95.2

(学校質問紙)

- 学校質問紙によると、児童生徒の考えを引き出したり思考を深めたりする発問や、発言や活動の時間確保、ノートのまとめ方に関して教師は高い割合で指導を行っている状況にあります。しかし児童生徒質問紙では、そのように感じている者の割合がやや少なく、その意識にずれが見られます。
- 日々の授業において、児童生徒による授業評価等を位置付け、指導した内容が児童生徒の学習結果に効果をあげているか検証することが必要です。

児童生徒の学力向上を組織的に行いましょう！

◇ 校内検証委員会を中心に、学力向上プランに基づいた児童生徒の学力向上の取組を組織的に行い、それを検証することが重要です。



■ PDCAサイクルの各段階で行うこと

【Plan(計画)段階】

校内検証委員会で学力実態を分析し、指導の重点を決めて「学力向上プラン」「指導計画」等を作成し全教職員で共通理解を図ります。その際、学力向上の具体的な目標を定めましょう。

【Do(実施)段階】

指導の重点が授業の中で反映されるよう、週案等を有効に活用して授業を行いましょう。

校内研修によって、習熟度別指導や繰り返し学習、言語活動の充実、家庭学習の在り方について理解を深めることが大切です。

懇談会や学校説明会等で家庭学習推進を働きかけましょう。

【Check(評価)段階】

学期末等に学力向上プランに基づく、学力向上推進状況を評価します。評価に当たっては、各種調査だけでなく、児童生徒、教職員等へのアンケートなどを活用し、多面的に行うことが大切です。

【Action(改善)段階】

評価を受けて、改善策を確定し、以後の実践に反映させることが大切です。

短期的な改善内容は、全職員で早いうちに共通理解して集中して取り組むことが考えられます。

「授業改善のStrategy vol.4」の活用方法

※ 本書は福岡県の学力調査報告書に基づき作成されています 【HP】 <http://gimu.fku.ed.jp>

理科 調査結果から見えてきたこと 小学校理科1

全体的な傾向

- 1 基礎的・基本的な知識及び技能に関する問題の正答率が期待正答率を上回っているものが多い。
- 2 実生活との関連を重視した問題等、学んだ知識や技能を活用する力に課題がある。
- 3 観察・実験の結果を整理し、考察、表現する力に課題がある。
- 4 学年に応じた問題解決の能力の定着を図る必要がある。

※ 正答率が90%を超えるもの、正答率が40%以下もしくは例年課題としても着るものをとりあげています。

大問	小問	正答率	期待正答率	問題の内容	出題のねらい	
1	(1)	94.7	0.0	80.0	モンシロチョウのたまごが見られる場所を指摘できる。	モンシロチョウのたまごが見られる場所を指摘できる。
	(2)	96.8	0.1	80.0	①にん虫の育ち方	モンシロチョウのような虫の正しい育ち方を指摘できる。
	(3)	97.4	0.0	80.0	モンシロチョウの成長過程で、えさを食べない時期を指摘できる。	モンシロチョウの成長過程で、えさを食べない時期を指摘できる。
2	(1)	74.5	0.1	70.0	※を部分的に重ね合わせたときの明るさを指摘できる。	※を部分的に重ね合わせたときの明るさを指摘できる。
	(2)	31.2	0.1	50.0	②先の性質	糸がながを黒い紙に近づけたときの、日光が当たる部分を指摘できる。
3	(1)	6.3	1.1	40.0	④電気の通り道	豆電球に明かりがつくように、回路を完成させることができる。
	(2)	53.2	3.8	60.0	実験結果から、金属が電気を通すことを指摘できる。	実験結果から、金属が電気を通すことを指摘できる。
4	(1)	94.6	0.1	80.0	④動物のからだのたんじょう	筋肉が収縮する場面を指摘できる。
	(2)	77.5	3.1	80.0	ほねとほねのつなぎ目を「関節」と指摘できる。	ほねとほねのつなぎ目を「関節」と指摘できる。
5	(1)	60.2	0.1	80.0	⑤天気の様子と気温	温度計の正しい読み方を指摘できる。
	(2)	68.8	0.4	60.0	グラフに表された気温の変化から、天気の変化を指摘できる。	グラフに表された気温の変化から、天気の変化を指摘できる。
6	(1)	38.3	5.1	40.0	⑥ものの体積と温度	水が氷になると体積が増えることを、ペットボトルの現象に当てはめることができる。
	(2)	59.2	0.2	60.0		ガラス瓶にきつく締まった金属のふたを、温度変化を利用して開けやすくする方法を指摘できる。

1ページ目

【調査結果から見えてきたこと】
本県の児童生徒のよい点と改善すべき点を紹介！

【よかった点】

【改善すべき点】

これを改善するには、どんな対策をうてばいいの？

なぜこの問題の正答率は低いのか？

2、3ページ目

【改善のポイントと対策】
改善すべき点が表れた問題の分析と改善のポイントを紹介！

【改善のポイントの対策】
こんな対策をうてばいいんだな！

【分析】
こんな誤答をしているから低いのか！
改善するには、どんな活動をすればいいの？

対策は分かったけど、すぐにできることはないの？

改善のポイントと対策 小学校理科2

改善のポイント1 実感を伴った理解を図る学習活動の充実

問題 3 正答率：6.3%

(1) 豆電球に明かりがつくように、下の図に図2線をもう1本かき入れましょう。(答えは解答用紙にかきましょう。)

正答：赤い線

誤答の分析

誤答の内容

豆電球の底の部分と電池の+極をつないでいる回答が88.0%

- ソケットなしの豆電球をソケット付き豆電球と誤解している。
- ソケットなしの豆電球を使って、回路をつないだ経験がない。
- 1つの輪のようにつないだ電流の通り道が回路であることを理解していない。

対策

やってみよう！1

- (1) ソケットなしの豆電球で明かりをつける実験を一人一人行わせる。
- (2) 資料などを使って豆電球の内部を提示し、電流の流れる道筋を確認させる。
- (3) ソケットなしとありで豆電球に明かりを付ける実験を行い、その共通点を確認させる。

やってみよう！ ～学力向上のための具体的な指導の在り方～ 小学校理科4

やってみよう！1 実験器具を工夫して一人1実験

■ 実感を伴った理解を促す工夫を行う。

- ① 第5学年単元「動物の誕生」では、ペットボトルを使ったマイメダカ水槽をつくることに取り組む。
- ② 自分のメダカ水槽をもたせることで、受精から孵化までを注意深く観察することにつながり、生命の尊さを実感をもって理解させることができる。
- ③ 実験器具を工夫することで一人1実験が可能になる。

【具体的方策】なるほど！すぐにやってみよう！

やってみよう！2 実生活と関係付けた課題を提示

■ 基礎的・基本的な知識や技能を活用させ、科学的な思考力を高める。

- ① 第5学年単元「電流の働き」では、学習後に、電磁石を使ったクレーンの利点を考える課題を提示する。
- ② 実生活と学習したことを関係付けた課題を提示することで科学的な思考力を高めることが可能になる。

やってみよう！3 観察・実験の結果を整理し、考察させるノート指導

■ 考えたことを表現する力を育てる。

4ページ目

【やってみよう！ ～学力向上のための具体的な指導の在り方～】
改善のポイントを基に、授業の中ですぐにできる改善策を紹介！

全体的な傾向

- 1 「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」「言語事項」全ての領域で、基礎的・基本的な知識・技能の正答率が高い。
- 2 「話すこと・聞くこと」では、対話や討論など話し合うことの力に課題がある。
- 3 「書くこと」では、論理的に文章を書くなどの、構成・記述の力に課題がある。
- 4 複数の文章を比べて読み、自分の考えをまとめる力に課題がある。

Good!その1

基礎的・基本的な知識・技能の習得

Good!その2

思考・判断する能力(文章と図を関連付けて、内容を正確に捉える)

改善のポイント

改善のポイント1
話し合いの方向を捉えて、的確に発信する学習活動の充実

※P6へ

改善のポイント5
文脈に即して漢字を正しく書いたり、適切に語句を使ったりする学習活動の充実

改善のポイント2
書かれている情報を基に、自分の考えを論理的に書く学習活動の充実

改善のポイント3
文章の内容を捉え、提示された形式に合わせて適切に書く学習活動の充実

※P7へ

改善のポイント4 書かれている事柄と体験などを結びつけて、自分の考えを書く学習活動の充実

※ 正答率の高いものを「Good!」として、低いものを「改善のポイント」としてとりあげています。

設問番号	設問の概要	学習指導要領の領域等				問題形式		正答率(%)	無解答率(%)
		話すこと・聞く	読むこと	言語事項	選択式	短答式	記述式		
1ア	意味を考えて同音異義語を書く(開場)			○	○			75.6	5.5
1イ	意味を考えて同音異義語を書く(会場)			○	○			85.2	4.3
2一	話の特徴を説明したものと適切なものを選択する	○						94.5	0.2
2二	他の部への質問を聞き、自分の話に付け加える内容として適切なものを選択する	○						81.9	0.3
3一	「グラフ参照」という言葉を入れる箇所として適切なものを選択する	○						93.4	0.5
3二	生徒会だよりの下書きの書き直し方として適切なものを選択する	○						89.2	0.5
4一	「花が欲しくなった」のは何をするためかが分かる言葉を本文中から抜き出す		○					94.0	2.7
4二	「見とがめられる」の意味として適切なものを選択する		○					73.0	0.4
4三	「ひろってしまうのはいやだった」と感じた理由として適切なものを選択する							78.2	0.5
5一	書き直した文章の説明として適切なものを選択する	○						65.2	0.7
5二	書き直した内容に合わせて他の部分を書き直す	○						71.6	5.3
6一	索引の特徴を説明したものと適切なものを選択する		○					86.2	0.5
6二	索引のページから、調べたい事柄がより詳しく解説されているページを探す		○					94.2	1.2
7一	話し合いでの発言について説明したものと適切なものを選択する	○						82.4	0.7
7二	話し合いの方向を捉えた司会としての質問を書く	○						55.7	11.7
8	行書を楷書で書く			○				75.9	0.7
9一1	漢字を書く(かぜをヨボウする)			○				83.0	9.5
9一2	漢字を書く(祭りの日程をケントウする)			○				29.7	26.1
9一3	漢字を書く(あいさつを九わす)			○				63.6	23.8
9二1	漢字を読む(筆に勢いがある)			○				93.6	1.6
9二2	漢字を読む(生産量が増える傾向にある)			○				82.6	6.0
9二3	漢字を読む(目上の人を敬う)			○				84.7	4.6
9三ア	同音異義語から適切なものを選択する(シューベルトの名曲を)			○				85.4	0.7
9三イ	適切な語句を選択する(旅行に備えて綿密な計画を立てる)			○				49.8	0.9
9三ウ	適切な語句を選択する(いたずらをして、しかられても涼しい顔をしている)			○				91.0	0.8
9三エ	適切な敬語を選択する(参観日には父が学校へ来ると申しておりました)			○				67.4	1.0
9三オ	適切な語句を選択する(問題を解決するために知恵をしぼる)			○				89.8	1.2
9三カ	適切な語句を選択する(彼は、困難な仕事をいとも簡単にやってのけた)			○				90.2	1.9
9四1	文にふさわしいように語句を活用させて書く(行く)			○				89.4	1.9
9四2	文にふさわしいように語句を活用させて書く(きれいだ)			○				94.8	1.7
9五1	「いかん」の現代語訳を抜き出す(どうなるか)			○				82.2	4.3
9五2	「矛盾」という言葉の使い方として適切なものを選択する			○				85.7	1.0
1一	「ピクトグラム」について説明したものと適切なものを選択する	○						94.3	0.4
1二	二つのトイレを示すピクトグラムの例を比べ、考えを簡潔に書く	○	○					61.1	8.1
1三	二つの「ピクトグラム」を比べ、どちらを採用するのかを理由とともに三文で書く	○	○					39.9	7.4
2一	段落相互の関係について説明したものと適切なものを選択する		○					80.0	0.8
2二	比喩を用いた表現の内容として適切なものを選択する		○					74.1	1.0
2三	本文を読んで分かったことを一つ取り上げ、Q&Aの形式で紹介する	○	○					42.9	14.9
3一	裏表紙の文章から分かることとして適切なものを選択する		○					64.7	1.1
3二	裏表紙や帯や表紙に書かれている文章を手掛かりに、本を特定する		○					74.0	3.3
3三	読みたい本を一冊選択し、その本を選択した理由を書く	○	○					54.6	7.3

※P7へ

改善のポイント1 話し合いの方向を捉えて、的確に発信する学習活動の充実

誤答の分析

誤答の内容
① 「理由のない意見は取り上げません。」 ▲問いかけや発言を促す言い方ではない。
② 「もう少し詳しく話してください。」 ▲反対の理由を問うていない。

○ 司会の役割の理解が不十分。

正答率：55.7%

問題

A7-1

対策

- ① 実際の話合いを文章化するなどして、共通点や相違点などを整理する聞き方の学習をする。
- ② 進行表通りに進めるだけでなく、話し合いの目的に沿って、理由を問うたり他の発言を促したりする司会の役割を学習する。

やってみよう！1

※P8へ

正答例
中村さんは、なぜ部室を案内することに反対なのですか。(26字)

二 司会の林さんは、中村さんの発言の内容に不足があると思いましたが、林さんは、中村さんにどのように問いかけるとよいですか。(30字までの林さんの発言を参考にして、十字以上、三十字以内で書きなさい。)

林 教室のほかに、どこを案内するのがよいですか。意見を述べる際には、理由もあわせて言ってみてください。

山本 私は、学校図書館がよいと思います。本の数は、小学校よりも多いし、種類も豊富だからです。また、週末は地域に開放しているので、訪れたことがある小学生もいるのではないのでしょうか。そういう意味では中学校に親しみをもちてもらえる場所だと思うので、私は学校図書館を案内するのがよいと思います。

三上 中学校に親しみをもちてもらえる場所を案内することには賛成ですが、小学校の学校図書館もけっこう広いし、本の種類も多かった気がします。それより校舎横の部室がよいと思います。部活動は中学校生活の大きな楽しみの一つですから。

林 つまり、三上さんの意見は、学校図書館よりも部室を案内した方がよいということですね。ほかにも意見はありませんか。

中村 私は、部室を案内することには反対です。学校図書館については、図書委員会の活動も紹介できるので賛成です。

7 小学校六年生に中学校の様子を知ってもらうために、林さんたちは、中学校を案内することになりました。次は、案内する場所についての話し合いの部です。司会は、林さんです。これを読んで、あとの問いに答えなさい。

改善のポイント2 書かれている情報を基に、自分の考えを論理的に書く学習活動の充実

誤答の分析

誤答の内容
① 「アはどこにでもあるデザインである。イはユニークなデザインである。ユニークなデザインの方が個性があってよいので、私はイを採用する。」 ▲条件2を満たしていない。
② アとイのピクトグラムを比べていないもの、採用の理由が明確でないものなど。

- ① 目的に応じて必要な情報を集める読みが不十分。
- ② 自分の意見が相手に効果的に伝わるように、根拠を明らかにして書く学習などが不十分。

正答率：39.9%

問題

B1-1



条件3 三文で書くこと。

条件2 【ピクトグラムについて書かれた文章】の中にある、特徴や配慮についての言葉を使って書くこと。

条件1 アとイのピクトグラムを比べて書くこと。

三 あなたならどちらのピクトグラムを採用するのがよいと考えますか。あなたの考えとその理由を、次の条件1から条件3にしたがって書きなさい。

正答例
アは、人が本を手取る様子だけで学校図書館を示しており、単純なデザインである。イは、本が乱雑に重なったり汗が出ていたり不必要なもの描かれていて複雑である。だから、私はアを採用する。

【ピクトグラムについて書かれた文章】

石は、非常によく見かける表示である。これは、伝えたい事柄を絵や図などを用いて表現した「ピクトグラム」と呼ばれるもので、公共施設を中心に多く見られる。文字による説明ではないため、言葉の壁を越えて、だれでも素早く情報を得ることが可能である。デザインも単純化されているものが多い。例えば、非常口のピクトグラムは、人が外に出ようとしている様子によって、「非常口」の場所を示している。

このような特徴をもつピクトグラムには、デザインにおいて、さらにいくつかの配慮がなされている。ここでは、二つを紹介する。

①のピクトグラムは、フォークとナイフの絵で「レストラン」を示している。食事場所を探している人には役立つ表示であるが、宣伝や広告などとは違い、食事をしたいという意図を伝える必要はない。不必要なナイフの絵だけを伝える必要はない。伝える必要のない情報は、伝える必要のない情報である。

②は、「くず入れ」の場所を示している。捨てられるゴミをそのままの状態で捨てるのではなく、ゴミ箱に入れて捨てることに注目したい。ゴミ箱の絵だけでは、ゴミ箱の存在が伝わらない。不快感を与えたりしない配慮がなされている。

この文章から、
○「このような特徴をもつピクトグラムは～」
○「～配慮がなされている～」
というキーワードを探し、

- 特徴
 - ・素早く情報を得ることができる
 - ・デザインが単純化されている
- 配慮
 - ・不快感を与えない
 - ・その場の雰囲気を壊さない
 - などを読み取る。

対策

- ① 複数の文章を比較し共通点や相違点を整理して書く場を設定する。
- ② 関連する文章や資料などを効果的に用いて根拠とし、自分の考えを表す場を設定する。
- ③ 論理的に書く力をテスト等で定期的に評価し、指導に生かす。

やってみよう！2

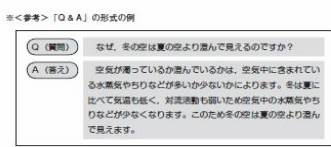
※P8へ

改善のポイント3 文章の内容を捉え、提示された形式に合わせて適切に書く学習活動の充実

正答率：42.9%

問題

B2



下の二つの枠は、下書きに使用済紙に書きなさい。

Q (質問)

なぜ、				

A (答え)

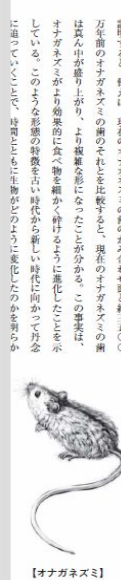
正答例
 Q(なぜ) ネズミ類の進化は、歯の化石によって研究されているのですか。
 A 歯は体の中で最も硬い組織であるため、ネズミ類などの小型動物でも化石として保存されやすいからです。

三 この文章を読んだことのない人に対して、あなたがこの文章を読んで分かったことを一つ取り上げて、紹介することになりました。取り上げたことについて、「Q&A」の形式で書きなさい。

なお、Q(質問)は、「なぜ」に続けて、二十文字以上、五十文字以内で書きなさい。

三 この文章を読んだことのない人に対して、あなたがこの文章を読んで分かったことを一つ取り上げて、紹介することになりました。取り上げたことについて、「Q&A」の形式で書きなさい。

なお、Q(質問)は、「なぜ」に続けて、二十文字以上、五十文字以内で書きなさい。



誤答の分析

- 誤答の内容**
- ① Q「(なぜ、)ネズミ類の進化は、歯の化石によって研究されているのですか。」
 A「ネズミ類の歯はあまりにも小さいから。」
 ▲QとAが適切に対応していない。
 - ② 本文と異なる内容を書いているものや、本文中にAのないQを書いているものなど。
 - 文章の内容を正確に捉え、提示された形式に合わせて適切に書くことが不十分。

対策

- (1) 伝えたい事柄を、自由な形式で書かせるだけでなく、新聞や案内、Q&A形式などでまとめる場を設定する。

やってみよう！3

※P8へ

改善のポイント4 書かれている事柄と体験などを結びつけて、自分の考えを書く学習活動の充実

正答率：54.6%

問題

B3

誤答の分析

- 誤答の内容**
- ① 「私がCを読みたく思ったのは、「浮世絵師描くところの挿絵とともに味わう一冊」と書いてあり、江戸時代の挿絵を見てみたいと思ったからです。」
 ▲ 体験や読書経験と結びつけて書いていない。
 - ② 「原話は蟬である」と書いてあるのですが、前に読んだときは、きりぎりすが出てきていたので、ほかにもこのような例があるのか読んで確かめてみたくなりました。」
 ▲ 本文からの引用。

- 文章に書かれている事柄を根拠に、自分の知識や体験などと関連付けて具体的に書くことが不十分。

正答例
 ① 小さいころに読んだことがある「ウサギとカメ」や「肉をくわえたイヌ」が紹介されていて、とてもなつかしく感じだったので、それらをもう一度読んでみたくなったからだ。
 ② 江戸時代の人々と同様にやさしい文語文で読みたくて書いてあり、学校で古典も勉強したので、やさしい文語文なら私も読むことができると思ったからだ。

- A(裏表紙の一部)
- B(帯の文章の一部)
- C(表紙の文章の一部)

三 あなたは、A、B、Cの本の中から一冊を選んで読むとしたら、どの本を選びますか。一冊選んだ上で、その本を選んだ理由を次の条件1から条件3にしたがって書きなさい。

条件1 (裏表紙の文章)、(帯の文章の一部)、(表紙の文章の一部)の中にあるいずれかの言葉を使って書くこと。
 条件2 今までの体験や読書の経験と結びつけて具体的に書くこと。
 条件3 五十文字以上、八十文字以内で書くこと。

対策

- (1) 完成モデルを示すなどして、自分の体験などと関連付けて具体的に書かせる場を設定する。
- (2) 鑑賞文や意見文、批評文など、様々な形態の文章を繰り返し書く場を設定する。

やってみよう！4

※P8へ

やってみよう！1

よい話し合いについて考えさせる

■ よい話し合いについて、繰り返し考えられるように工夫をする。

- ① プリント等で話し合いの進行について学習する。(右図)
- ② 小グループで話し合いの進行の仕方に慣れる。
- ③ 実際の話合いの場を見たり、ビデオで視聴したりして、よい点や改善点について話し合う場を設定する。

これからの交流について、S市の中学生と意見交換したらどうかな…。

その提案は、テーマとの関係がよくわからないな。



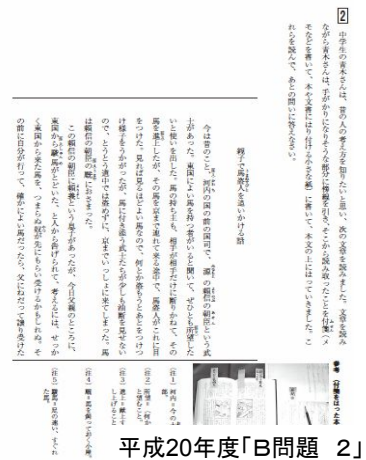
やってみよう！2

書かれている情報を基にして表現させる

■ 論理的に書く力の定着を図る。

- ① 目的や必要に応じて、大切な情報を選択し整理する機会を多くする。
- ② 自分の考えの根拠として効果的になるように、収集した情報を基に構成して記述する場を設定する。
- ③ 論理的に書く力についての生徒の習熟度の確認や、指導結果の評価のために、過去の全国学力・学習状況調査等を活用する。
[国立教育政策研究所HP→全国学力・学習状況調査→各学年度調査]

四本文中の「頼信」や「頼義」が大切になっていると考えられることを、四字熟語を用いてまとめます。どちらかの四字熟語を選んで、条件(二人の行動や言葉)を具体的にあげ、四字熟語に関連させる、などにしたがって書きなさい。

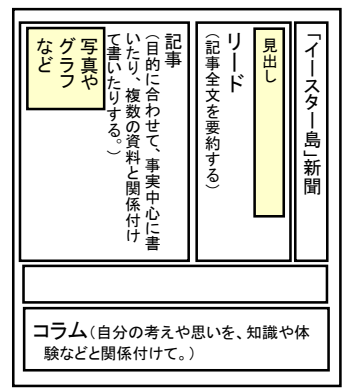


やってみよう！3 文章の内容を正確に捉えさせる

■ 文章を目的に応じて要約する力を育てる。

- ① 本や文章を読んで新聞や案内、紹介などの決められた形式でまとめる場を設定する。
- ② 文章の構成や表現の工夫をつかむ。
・段落相互の関係や表現の工夫をノートやワークシートに図示させる。その際、文章中の言葉を引用して自分の言葉でまとめさせる。例えば、説明的文章では、課題を提示する段落と答えの段落や、抽象的な事柄を述べている段落とその具体例を示している段落の関係などがわかるように図示してみる。

文章を読んで新聞形式にまとめる例



やってみよう！4

様々な文章を読んで、自分の知識や体験などと結び付けさせる

■ 自分の考えを持つ(主体的な読み)習慣を身に付ける

- ① 第3学年「批評する文章を書く」では、テレビの広告の文章や新聞記事、高等学校のパンフレットなどを批評してみる。
 - ② 同じ種類の製品(テレビや携帯電話など)のパンフレットや、同じ出来事についての新聞記事、高等学校のパンフレット等を複数準備し、自分が選択したものよさや特徴、改善点などが分かるように、発表したり記述したりする。
- ※ 留意点として、自分の知識や体験から考えられることやパンフレットの中から根拠となる言葉を引用させること。「Aでは～であるが、Bでは～」のように書き方のモデルを提示する。

高等学校のパンフレットを教材とした例

よさ、特徴	効果
部活動のページでは、大会での実績だけでなく、顧問の先生が指導しているシーンの写真が使われていて、メッセージが添えられている	A高校は顧問の先生の指導力に自信がある中学生が読むとこの先生に教わりたいという気持ちになる。
A高校の先輩からのメッセージには、「どんな理由で入学したのか」「入学してみてどうだったのか」の二つが書いている。	パンフレットを読む私たちは、先輩たちが「入学した理由」が書いている方が自分と重ねることができると中学生は引き込まれやすい。

「言語活動の指導に関する指導事例」

全体的な傾向

- 1 基礎的・基本的な知識及び技能の正答率は、期待正答率とほぼ同程度であり、おおむね良好である。
- 2 時差の設問については、例年正答率が低い傾向にある。
- 3 古代までの日本の特色の理解に課題がある。
- 4 様々な資料を多面的・多角的に考察する力の定着を図る必要がある。

※ 期待正答率+10を超えるもの、-10を超えるものをとりあげています。

大問	中間	小問	正答率	無解答	期待正答率	問題の内容	出題のねらい
1	(1)		16.7	4.3	40.0		正距方位図法の特徴と、海洋の位置と名称の理解をもとに、地図を読み取ることができる。
	(2)		74.6	0.6	75.0	①地球の姿をとらえる	正距方位図法の特徴の理解をもとに、地図を読み取ることができる。
	(3)		18.4	15.6	40.0		2地点間の時差について考えることができる。
2	(1)		55.0	6.1	40.0	②日本のすがたと諸地域	日本の主な都道府県の位置と名称を理解している。
	(2)		74.2	0.7	45.0		日本の主な都道府県の位置と名称、都道府県庁所在地名について理解している。
3	(1)		65.0	8.5	70.0	③日本と世界の結びつき	統計地図を作成することができる。
	(2)		31.1	6.4	50.0		交通機関の特色や普及についての理解をもとに、自動車による旅客輸送の特徴について考え、表現することができる。
4	(1)		54.0	5.1	50.0	④日本と世界の産業と自然環境	東アジアにおける米、小麦の代表的な生産地をもとに類推して、インドの米、小麦の生産地の特徴について、年間降水量の観点から考え、表現することができる。
	(2)		51.3	1.3	50.0		写真で示した森林が見られる気候帯を、地図から読み取ることができる。
	(3)		44.8	1.1	40.0		季節風に関する理解をもとに、築地松の効用について考えることができる。
5	(1)		36.6	1.2	50.0	⑤日本と世界の人口	発展途上の国の出生率についての理解をもとに、図の構成について考えることができる。
	(2)		42.8	1.2	70.0		高齢化に関する折れ線グラフを読み取ることができる。
6	(1)		40.8	6.2	40.0	⑥古代までの日本の様子	弥生時代における農耕の広まりの理解をもとに、弥生時代に人口が増加した理由を考え、表現することができる。
	(2)		37.4	1.3	40.0		弥生時代における日本と大陸との交流に関する資料を読み取ることができる。
	(3)		74.0	1.3	70.0		聖徳太子についての理解をもとに、冠位十二階の制度が定められた結果について考えることができる。
7	(1)		69.7	1.4	70.0		奈良時代の文化の特色について理解している。
	(2)		26.6	2.0	40.0		平安時代の国司の様子について理解している。
	(3)		19.7	2.8	40.0		平安時代の文学作品について理解している。
	(4)		40.6	15.3	40.0		院政について理解している。
8	(1)		61.3	1.5	60.0	⑦中世の日本の様子	中世に活躍した主な人物について理解している。
	(2)		43.1	9.9	50.0		鎌倉時代の地頭の様子についての理解をもとに、資料を読み取って考えることができる。
	(3)		58.2	2.3	40.0		永仁の徳政令が出された理由について理解している。
	(4)		60.6	21.1	55.0		日明貿易について理解している。
9	(1)		57.4	23.7	50.0		飢饉と百姓一揆に関する理解をもとに、その両者の関係を考え、表現することができる。
	(2)		53.9	2.7	40.0		開国が日本にあたえた影響について考えることができる。
10	(1)		17.4	43.4	45.0	⑧近世以降の日本と世界	民権議院設立の建白書が提出された背景について、藩閥政治に関する資料を読み取って考え、表現することができる。
	(2)		30.3	27.5	50.0		軽工業の産業革命の理解をもとに、日本の生糸の輸出額のグラフの変化を読み取り、その変化の背景を考え、表現することができる。
	(3)		47.2	3.2	40.0		大正時代のできごとの順序を考えることができる。
11	(1)		64.6	3.5	40.0	⑨現代社会とわたしたちの生活	高度経済成長期以降の日本の電器製品の普及率の変化のグラフを読み取ることができる。
	(2)		34.4	8.3	70.0		食料自給率低下の背景について考えることができる。

Good!

基礎的・基本的な知識の習得

改善のポイント

改善のポイント1
世界の地域構成を大観する学習の充実

※P10へ

改善のポイント2
古代までの日本の特色の学習の充実

※P10へ

改善のポイント3
様々な資料を多面的・多角的に考察する学習の充実

※P11へ

改善のポイント4
私たちが生きる現代社会と文化の学習の充実

※P11へ

※ 改善のポイントの番号は福岡県の学力調査報告書に基づいています。併せて参照ください。

改善のポイント1 世界の地域構成を大観する学習の充実

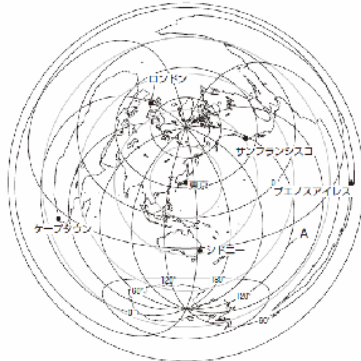
問題

1

正答率：
18.4%

正答：
12月31日午前9時

1 次の地図は、中心である東京からの距離と方位が正しくかかれたものです。これを見て、あとの各問に答えなさい。



(3) 東京が1月1日午前2時のとき、サンフランシスコでは何月何日の何時ですか。「午前」または「午後」のどちらかの語句を使い、解答欄に合わせて書きなさい。ただし、サンフランシスコは、地図中のAの経線を基準に時刻を決めています。

誤答の分析

	誤答の内容	
①	時差の誤答	(2.6%)
②	時刻の誤答	(1.7%)
③	日付の誤答	(1.2%)
④	無解答	(15.6%)

- ↓
- ① 東経と西経の時差の求め方が理解できていない。
 - ② 自転の向きを逆に考え、時刻を進めている。
 - ③ 日付変更線をまたぐと、日付を変える必要があることを理解していない。

対策

- (1) テレビのニュース番組やスポーツ中継等を活用して生活場面と関連付けた指導を行う。
- (2) 数学科の「正の数」「負の数」の学習成果を活用する。
- (3) 座標軸となる知識や技能については、適宜定着度をみる到達度テストを行う。

やってみよう！1

※P12へ

改善のポイント2 古代までの日本の特色の学習の充実

問題

7

正答率：26.6% 正答：1

(2) 表中の下線部イについて、平安時代になると、国司の仕事の様子は変化していきました。その変化の説明として正しいものを、次の1～4から1つ選んで、その番号を書きなさい。

- 1 自らの収入を増やすことだけにはげんだり、地方の任地には代理人を送って、収入だけを得たりする者が多くなった。
- 2 貴族や寺院とともに、周りの農民を使ってさかんに開墾を行い、私有地を広げるようになった。
- 3 朝廷の政治を思うままに動かし始めたため、貴族や寺社の反感を招き、地方の武士の中にも不満をいだく者が増えた。
- 4 やかたを築いて土地の開発を進め、領地を寄進して中央の貴族や寺院の荘園とし、自らは荘園の管理者となった。

誤答の分析

	誤答の内容	
①	選択肢2の誤答	(27.2%)
②	選択肢3の誤答	(17.8%)
③	選択肢4の誤答	(26.3%)
④	無解答	(2.0%)

- ↓
- ① 奈良時代の郡司の様子と平安時代の国司の様子を誤って理解している。
 - ② 滅亡前の平氏の様子と平安時代の国司の様子を誤って理解している。
 - ③ 平安時代の武士の様子と平安時代の国司の様子を誤って理解している。

対策

- (1) 小学校での学習の単なる繰り返しのならないように留意しながら、小学校での学習内容を活用する。
- (2) 政治の展開、産業の発達、社会の様子、文化の特色など、時代の特色を明らかにする上で必要になる視点をもたせる。

やってみよう！2

※P12へ

改善のポイント3 様々な資料を多面的・多角的に考察する学習の充実

問題

10

正答率：17.4%

正答例：一部の旧藩出身者中心の政治をやめさせ、国民の意見を政治に反映させるため

表 民撰議院設立の建白書が提出されたところ(1873年11月当時)の政府

Table with 4 columns: 官職 (Official Position), 氏名 (Name), 出身 (Origin), and 備考 (Remarks). It lists various government positions like Grand Councillor, Minister, etc., and their origins, with some names underlined.

Table with 3 columns: 官職 (Official Position), 氏名 (Name), and 出身 (Origin). It lists officials from various provinces and departments, with some names underlined.

注：参議とは、太政大臣と左右大臣に次ぐ官職。卿とは、省の最高責任者。大輔とは、卿に次ぐ官職。 (『角川日本史辞典』)

(1) 1874年、板垣退助は、民撰議院設立の建白書を政府に提出しました。この建白書提出の目的を書きなさい。ただし、右の表中の波線部に着目し、表で示した政府の特色を読み取って書きなさい。

誤答の分析

Table with 2 columns: 誤答の内容 (Wrong Answer Content). It lists two common wrong answers: ① 資料を読み取っただけの記述 (21.7%) and ② 無解答 (43.4%).

- ① 読み取った内容と民撰議員設立の建白書提出の目的を結びつけて考えることができていない。
② どのようなことを読み取り、どのような表現をすればよいか理解できていない。

対策

- (1) 資料を手順をおって丁寧に読み取らせ、資料からわかることを書き出させる。
(2) 書き出したことを共通点や相違点でグループ分けを行い、それぞれの特色等を読み取らせる。
(3) 資料から読み取れることをもとにして、学習課題の解決に必要な内容を考えさせる。

やってみよう！ 3

※P12へ

改善のポイント4 私たちが生きる現代社会と文化の学習の充実

問題

正答率：34.4%

正答：ア 米 イ 食料自給率

11

(2) まいこさんたちのクラスでは、日本人の食生活の変化について学習しました。次の文章は、まいこさんが、学習後にまとめたものです。文章中の「ア」にあてはまる穀物の名称と、「イ」に共通してあてはまる語句を書きなさい。

1960年ごろ、多くの日本人は、主食を中心に、魚や野菜などを多く食べる生活を送っていました。しかし、社会が発展していくにつれて、食生活の洋食化が急速に進みました。特に、日本でたくさんつくることができる「ア」を食べる量が減り、肉や乳製品などの畜産物、油脂類をたくさん食べるようになりました。

家畜のえさや油脂の原料は、日本で大量につくることができず、輸入にたよらなければなりません。このことが原因の1つとなり、日本の「イ」が下がりました。1990年代に進展した農産物の貿易自由化も、「イ」の一層の低下を招きました。

誤答の分析

Table with 2 columns: 誤答の内容 (Wrong Answer Content). It lists two common wrong answers: ① 資料の文章から適切な語句を当てはめることができていない (57.3%) and ② 無解答 (8.3%).

- ① 米の消費量の減少と、肉・乳製品などの消費量の増加とについて、どのような関係にあるか理解できていない。また、食料自給率などの語句に対する理解が不足している。

対策

- (1) 地理的分野の既習内容の習得状況をアンケート等で確認する。
(2) 既習内容の習得状況に応じて、教材の内容や質を変えたり、指導形態を変えたりする。
(3) 語句の理解を定着させるため、学習した内容を復習する習慣化を図る。

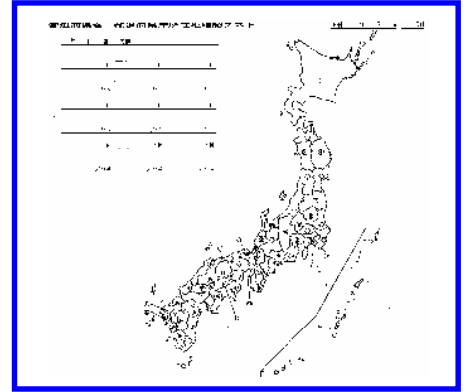
やってみよう！ 4

※P12へ

やってみよう！1 定着度をみる到達度テストの実施

■ 基礎的・基本的な知識や技能の定着を図る。

- ① 地理的分野における「世界の地域構成」や「日本の地域構成」などの座標軸となる基礎的な内容等については、学習後に習得の状況を見る到達度テストを定期的に行う。
- ② 到達度テストの結果から、「発展的な内容の課題」や「補充的な内容の課題」を準備するなどして、個に応じた指導を行う。



やってみよう！2 小学校での学習内容の活用

■ 学習の効率化を図り、時代を大観化させる。

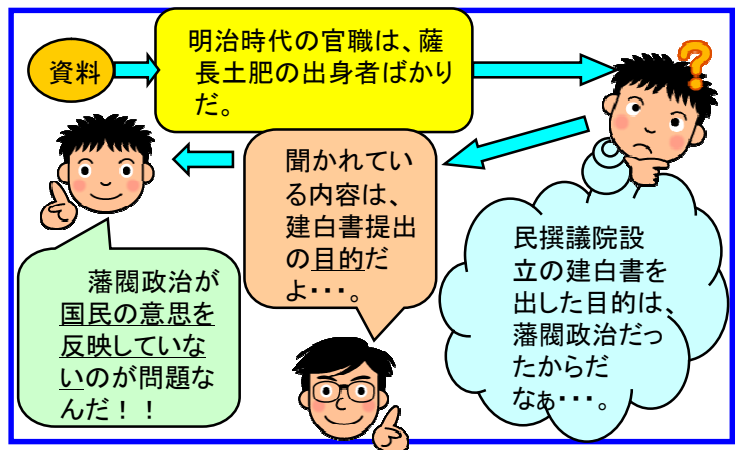
- ① 小学校学習指導要領社会や小学校の社会科教科書を調べ、中学校の学習内容との関連性を把握する。
- ② 事前アンケート等で、小学校での既習内容の理解度等を把握する。
- ③ 理解度の高い既習内容を単元の導入時に用いるなどして、興味・関心を喚起する。



やってみよう！3 資料を目的に応じて活用させ、表現させる指導

■ 資料を使って考え、表現する力を育てる。

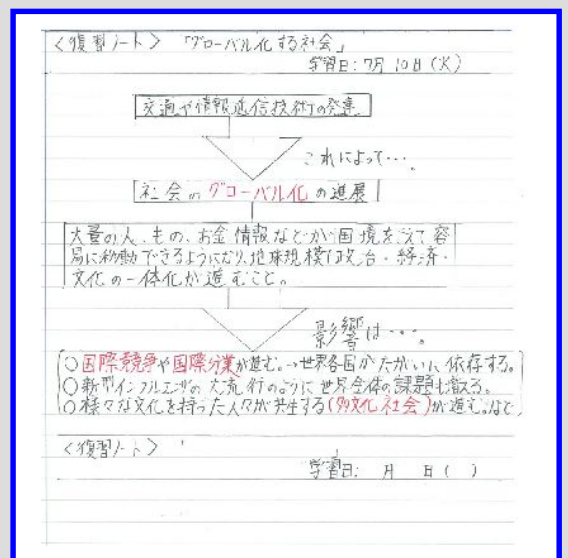
- ① 学習課題で何が問われ、何が求められているか確認する。
- ② 資料から読み取ったことと学習課題とを結びつけて考えさせる。
- ③ 結びつけることができていない生徒には、既習事項の内容を整理させ、着眼点を与える。
- ④ 自分が考えたことが、課題解決につながっているかどうか再検討させる。



やってみよう！4 学習した内容をまとめ直す復習ノートへの指導

■ 学習を習慣化させ、学習内容の定着を図る。

- ① 毎時間もしくは単元の学習の終了時には、学習した内容をまとめるノートを作成させて、学習内容を理解しているか確かめさせる。
- ② 授業で使用しているノート(プリント)とは別のノート(別のページ)を使わせる。
- ③ 「この地域の特色は、○○」や「この時代の特色は、□□」、「グローバル化とは、△△」などのように、自分の言葉で書かせることが重要である。
- ④ 地図や年表、図なども活用してまとめさせる。
- ⑤ 単元毎にノートを提出させるなどして定着状況を確実に把握し、理解の定着がみられない生徒には個に応じた指導を行う。



全体的な傾向

- 「数と式」領域において表現や処理、「図形」領域の空間における直線や平面の位置関係の理解、平行線や角の性質については高い正答率である。
- 「図形」領域の証明の意義についての理解に課題が見られる。
- 筋道を立てて考え、数学的に表現すること、数学的な解釈と判断の根拠を説明することに課題が見られる。

※ 改善のポイントについては、経年における調査結果から、一定の成果が上がっている内容と課題と考えられる内容を示しています。

Good!

基礎的・基本的な計算技能や基本図形の定義や性質の理解

改善のポイント

改善のポイント1
数の概念の理解と数量関係を文字式で表現することができる学習指導の充実

改善のポイント2
帰納と演繹の違いを理解し、証明の意義についての理解を深めることができる学習指導の充実

改善のポイント3
代表値や資料のちらばりに着目してその資料の傾向を読み取ることができる学習指導の充実

改善のポイント4
問題解決の過程を振り返って、事象を数学的に解釈することができる学習指導の充実

改善のポイント5
ある事柄の理由を数学的な表現を用いて説明することができる学習指導の充実

設問番号	正答率	無解答	出題の趣旨
1	(1) 84.8	4.6	分数の乗法の計算をすることができる
	(2) 49.0	0.9	数の範囲を拡張することによって、四則計算の可能性が拡大されることを理解している
	(3) 89.0	4.1	正の数と負の数の範囲で絶対値の意味を理解している
	(4) 82.6	2.3	加減乗除を含む正の数と負の数の計算において、計算のきまりにしたがって計算をすることができる
2	(1) 84.9	4.0	整式の加法と減法の計算をすることができる
	(2) 74.9	9.5	数量の関係や法則などを文字式で表現することができる
	(3) 49.9	13.9	数量の関係や法則などを文字式で表現することができる
	(4) 73.1	12.0	ある文字について解くことの意味を理解し、等式を目的に応じて変形することができる
3	(1) 78.5	9.3	小数を含む一元一次方程式を解くことができる
	(2) 53.7	8.5	2通りに表される数量に着目し、文字を用いた式や数で表し、一次方程式をつくることができる
	(3) 67.9	1.7	連立二元一次方程式の解の意味を理解している
	(4) 72.1	9.7	簡単な連立二元一次方程式を解くことができる
4	(1) 52.5	1.6	垂線の作図の方法を図形の対称性に着目して見直すことができる
	(2) 31.0	6.2	回転移動の意味を理解している
5	(1) 49.2	4.9	空間における直線と直線との位置関係を理解している
	(2) 38.5	14.1	四角柱の底面積と体積を求めることができる
	(3) 85.7	1.0	与えられた投影図から空間図形を読み取ることができる
	(4) 44.7	1.3	球の体積を、球がぴったり入る円柱の体積との関係から理解している
6	(1) 85.9	3.9	1組の平行線に直線が交わってできる角の性質を理解している
	(2) 68.2	1.5	多角形の内角の和の性質を理解している
	(3) 75.6	4.4	合同な三角形の対応する角の大きさを求めることができる
7	(1) 61.7	1.1	証明を読み、用いられている三角形の合同条件を理解している
	(2) 31.8	1.2	平行四辺形になるための条件を理解している
8	25.8	1.6	証明の意義について理解している
9	28.6	1.5	関数関係の意味を理解している
10	(1) 67.2	1.4	比例の式とグラフの関係を理解している
	(2) 53.7	16.8	比例の式からそのグラフ上にある原点以外の点のx座標とy座標の値の組を求めることができる
11	(3) 81.7	7.6	反比例のグラフをかくことができる
	(1) 65.2	1.9	事象における2つの数量の変化や対応の様子を捉え、その様子を表すグラフを指摘できる
	(2) 54.2	2.3	一次関数 $y = ax + b$ の a が、 x が1増加したときの y の増加量を表していることを理解している
	(3) 40.6	20.2	一次関数の表から、 x と y の関係を $y = ax + b$ の式で表すことができる
12	49.1	2.7	比例のグラフと一次関数のグラフの関係を理解している
13	(1) 28.3	2.9	与えられた式を基に、事象における2つの数量の関係が反比例であることを判断できる
	(2) 61.2	14.2	事象の起こる確率を求めることができる
	(2) 28.3	3.2	中央値の意味を理解している
1	(3) 65.3	3.2	目的に応じてヒストグラムから資料の傾向を読み取ることができる
	(1) 76.8	0.5	グラフから必要な情報を読み取ることができる
	(2) 40.6	1.6	問題解決の方法を数学的に説明することができる
2	(3) 39.3	0.9	問題解決の過程を振り返って、事象を数学的に解釈することができる
	(1) 74.3	8.4	問題場面における考察の対象を明確に捉えることができる
	(2) 70.3	8.4	与えられた説明を振り返って考え、式変形の目的を捉えることができる
3	(3) 63.8	14.7	発展的に考えて説明することができる
	(1) 73.4	10.2	事象を数量や図形に着目して観察し、その特徴を的確に捉えることができる
	(2) 38.3	24.9	事象を数学的に解釈し、成り立つ事柄の特徴を数学的な表現を用いて説明することができる
4	(3) 43.5	1.8	問題解決の方法を振り返って考え、発展的に考えることができる
	(1) 56.6	1.3	証明で用いられている根拠となる事柄を明確に捉えることができる
	(2) 40.1	23.7	与えられた証明を振り返り、類似の場面で証明することができる
5	(3) 51.2	2.0	証明を振り返り、新たな性質を見いだすことができる
	(1) 31.2	13.5	範囲の意味に基づいて表から必要な情報を読み取ることができる
	(2) 29.5	32.3	資料の傾向を的確に捉え、判断の理由を数学的な表現を用いて説明することができる
5	(3) 50.2	1.8	資料の傾向を的確に捉えることができる

※P14～

※P14～

※P15～

※P15～

※ 改善のポイントの番号は福岡県の学力調査報告書に基づいています。併せて参照ください。

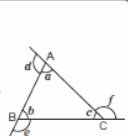
改善のポイント2 帰納と演繹の違いを理解し、証明の意義についての理解を深めることができる学習指導の充実

問題

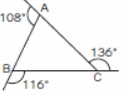
A8 正答率：25.8%

8 ある学級で、「三角形の外角の和は360°である」ことの証明について、次の①、②を比べて考えています。

①
右の図の△ABCで、
 $\angle d = 180^\circ - \angle a$
 $\angle e = 180^\circ - \angle b$
 $\angle f = 180^\circ - \angle c$
また、三角形の内角の和は180°であるから、
 $\angle a + \angle b + \angle c = 180^\circ$
したがって、
 $\angle d + \angle e + \angle f = (180^\circ - \angle a) + (180^\circ - \angle b) + (180^\circ - \angle c)$
 $= 540^\circ - (\angle a + \angle b + \angle c)$
 $= 540^\circ - 180^\circ$
 $= 360^\circ$
よって、三角形の外角の和は360°である。



②
右の図の△ABCで、各頂点における外角の大きさをそれぞれ測ると、
頂点Aの外角の大きさは108°、
頂点Bの外角の大きさは116°、
頂点Cの外角の大きさは136°である。
したがって、それらの和を計算すると、
 $108^\circ + 116^\circ + 136^\circ = 360^\circ$
よって、三角形の外角の和は360°である。



どんな三角形でも外角の和は360°であることの証明について、正しく述べたものが下のアからオまでの中にあります。それを1つ選びなさい。

- ア ①も②も証明できている。
- イ ①は証明できているが、②は形の違うたくさんの三角形で同じように確かめれば証明したことになる。
- ウ ①は証明できているが、②は形の違うたくさんの三角形で同じように確かめれば証明したことになる。
- エ ①も②も形の違うたくさんの三角形で同じように確かめれば証明したことになる。
- オ ①は形の違うたくさんの三角形で同じように確かめれば証明したことになるが、②はそれでも証明したことになる。

正答：ウ

誤答の分析

誤答の内容

【ア ①も②も証明できている。】
◇実測による説明で十分であると考えている。

【イ ①は証明できているが、②は形の違うたくさんの三角形で同じように確かめれば証明したことになる。】

◇帰納的な方法による説明の限界について理解できていない。

- ① 演繹的な推論による証明の方法がわからない。
- ② 実測や操作など帰納的な方法による説明と演繹的な推論による証明の違いがわからない。

やってみよう！1

※P16へ

対策

- (1) 具体的な事例をもとにして帰納的な方法の意味と演繹的な方法の意味の理解を図る。
- (2) 帰納、類推と演繹などの推論の過程が異なる二つの証明を基にその相違点を説明したり、推論の過程に誤りのある証明を基にそれを指摘し改善したりするなどの活動を取り入れる。
- (3) 根拠を明らかにし数学的な表現を用いて、他者にわかりやすく説明する活動を取り入れる。

改善のポイント3 代表値や資料のちらばりに着目してその資料の傾向を読み取ることができる学習指導の充実

問題

A13(2) 正答率：28.3%

(2) ある学級の生徒35人が100点満点の試験を受けました。得点の中央値は50点でした。このとき必ずいえることが下のアからエまでの中にあります。それを1つ選びなさい。

- ア 35人の得点の最高点と最低点の差は50点である。
- イ 35人のうち、50点の得点の人数が最も大きい。
- ウ 35人の得点の合計を35で割ると、50点である。
- エ 35人の得点を高い順に並べたとき、高い方から18番目の人の得点が50点である。

正答：エ

誤答の分析

誤答の内容

【ウ 35人の得点の合計を35で割ると、50である】
◇中央値の意味と平均値の意味を混同している。

- ① 代表値や範囲の求め方、度数分布表やヒストグラムなどのかき方がわからない。
- ② 代表値や資料のちらばりに着目してその資料の傾向をよみとることができない。

対策

- (1) 日常生活を題材とした問題を取り上げ、それを解決するための必要な資料を収集する。
- (2) 資料をもとにして、表やヒストグラムなどを作成することを通して、代表値を求め資料の傾向をとらえるような操作・観察を行う活動を取り入れる。
- (3) 資料の傾向をよみとり、気付いたことや変化の様子について説明する活動を取り入れる。

やってみよう！2

※P16へ

改善のポイント4 問題解決の過程を振り返って、事象を数学的に解釈することができる学習指導の充実

問題

B1(3)

正答率：
39.3%

正答：ウ

1 生徒会委員の友美さんは、ペットボトルのキャップの回収について全校生徒に知らせる体験会だよりの下書きを作成しています。

生徒会だよりの下書き

生徒会だよりの下書き 平成22年4月15日 第一中学校生徒会

ペットボトルのキャップの回収にご協力を！

本校ではペットボトルのキャップの回収を行っています。回収されたペットボトルのキャップはリサイクルされるので、二酸化炭素の発生をおさえることができ、環境を保護することになります。また、この活動は世界中の子どもたちにアクションを届けることにもつながります。

平成22年度は、みなさんにたくさん協力してもらいました。特に、卒業に向けた体験会からの呼びかけに応じて協力してくださる人が増え、全体の回収量は、回収量が平成21年度に比べて大きく増えました。

(3) キャップ1個の重さがすべて等しいと考えれば、キャップのおよその個数を求めることができます。このとき、キャップの個数を x 個とし、 x 個のキャップの入った回収箱の重さを y gとすると、 x と y の間にどのような関係がありますか。下のアからエまでの中から正しいものを1つ選びなさい。

ア y は x に比例する。
イ y は x に反比例する。
ウ y は x の一次関数である。
エ x と y の関係は、比例、反比例、一次関数のいずれでもない。

誤答の分析

誤答の内容

- 【ア】 一次関数と比例の違いが理解できていない。
- 【イ】 一次関数と反比例の違いが理解できていない。

- ① 与えられたグラフからペットボトルのキャップの回収量についてよみとることができていない。
- ② キャップの個数とキャップの入った回収箱の重さとの間にある関係を見いだすことができない。
- ③ キャップの個数を求める過程を振り返り、キャップの入った回収箱の重さとキャップ1個の重さの関係は、一次関数にすることがわからない。

対策

- (1) 2つの数量関係について、変化するものとそうでないものを明確にし、具体的な数値を用いて考える活動を設定する。
- (2) 2つの数量関係を表やグラフ、式に表し、**変化の様子や特徴について話し合う活動**を取り入れる。
- (3) 2つの数量関係の変化や特徴を基にして、これまでに学んだことがらと関連付けて考える活動を取り入れる。

やってみよう！3

※P16へ

改善のポイント5 ある事柄の理由を数学的な表現を用いて説明することができる学習指導の充実

問題

B5(2)

正答率：29.5%

5 選手さんたちは、昨年の夏の高校野球甲子園大会の決勝戦で投げ合った最高速球投手と一二三塁手投手と対戦し、ヒットを打ってみたいと思いました。そこで、2人の甲子園大会の投球の記録について調べました。

表の(1)から(3)までの各問に答えなさい。

	最高球速 (km/時)	最高球速 (km/時)	球速の平均 (km/時)	総投球数 (球)
最高球速	147	109	132	706
一二三塁手	147	105	131	628

(1) 2人の球速の範囲がそれぞれ何kmであるか求めなさい。

(2) 選手さんたちは、一二三塁手の投げた球を打つための練習について話し合っています。

選手さん「表を見ると、球速の平均は球速131kmだね。」
大塚さん「それなら、平均の球速131kmに的をしばって練習すればいいかな。」
藤原さん「だけど、ヒストグラムをつくるとこんなふうになったよ。」

図1のヒストグラムをもとにすると、球速の平均である球速131kmに的をしばることは適切でないことが分かります。その理由を、図1のヒストグラムの特徴をもとに説明しなさい。

正答：

次の①、③、または②、③について記述しているもの、①のみ、②のみを記述しているものを正答とする。

- ① 球速131kmの球速が山の頂点に無いこと。
- ② 球速131kmの階級の度数が他の球速の度数よりも小さいこと。
- ③ 球速131kmに的をしばることは適切でないこと。

誤答の分析

誤答の内容

【時速136～138kmに的をしばればよい】

- ① 資料とヒストグラムを関連付けて特徴や傾向を読み取ることができない。
- ② 資料の傾向を読み取り、「時速131kmに的をしばること」が適切でない理由を数学的な表現を用いて説明できない。

対策

- (1) 資料の特徴や傾向からよみとれることや分かったことを説明する活動を取り入れる。
- (2) 説明すべき事柄とその根拠を明らかにして、**ある事柄についての判断の理由を数学的な表現を用いて説明する活動**を取り入れる。

やってみよう！4

※P16へ

やってみよう！1

推論の過程が異なる2つの証明を比較

■ 帰納と演繹の違いを理解し、数学的に表現する力を高める。

- ① 第2学年単元「図形」において、三角形の内角の和が 180° になることを実測して調べる方法と平行線の性質を用いて説明する方法を比べる場面を設定する。
- ② 2つの推論の方法について相違点や推論の過程を読んで不十分な点を話し合う活動を取り入れる。
- ③ 導いた結論を数学的な表現を用いて説明する活動を取り入れる。

2つの証明を比較する活動

演繹的な推論

比較

帰納的な推論

H21全国学力・学習状況調査問題

やってみよう！2

日常生活と関連付けた問題の提示

■ 資料の傾向をとらえ、その特徴を説明することができる。

- ① 第1学年単元「資料の活用」において、同じ中学校の生徒の通学時間を調査し、ヒストグラムに表す活動を取り入れる。
- ② ヒストグラムから読み取れることを話し合う活動を取り入れる。
- ③ ヒストグラムの特徴からある事柄が正しいかどうかを数学的な表現を用いて話し合う活動を取り入れる。

ヒストグラムや代表値などを利用して、集団の位置を判断する活動

中学校学習指導要領解説数学編

やってみよう！3

事象を理想化・単純化し数学的に表現・処理

■ 問題解決の過程を振り返って、数学的に解釈することができる。

- ① 第2学年単元「数量関係」において、水を熱し始めてからの時間と水温の関係についてグラフにする活動を取り入れる。
- ② グラフから時間と水温の関係についてどのような式で表されるかを話し合う活動を取り入れる。
- ③ 時間と気温の関係が一次関数の式で表されることを説明する活動を取り入れる。

水を熱したときの水温の変化を調べる実験

5 理科の授業で、水を熱したときの水温の変化を調べる実験をしました。右下の図は、水を熱し始めてからの時間と水温の関係を、2分ごとに10分後までかき入れたものです。

H19 全国学力・学習状況調査問題

やってみよう！4

数学的な表現を用いて、根拠を明らかにし筋道を立てて説明し伝え合う活動

■ 事象を数学的に解釈し、数学的な表現を用いて説明できる。

- ① 第3学年単元「数量関係」において、身の回りにある事象の中にある郵送方法の重さと料金の関係に着目して、関係を調べる活動を取り入れる。
- ② 郵送方法の重さと料金の関係を表やグラフに表して変化や対応の特徴を説明する活動を取り入れる。
- ③ 異なる郵送方法を比較し、どのような場合にどちらを利用すれば料金が安くなるかをグラフを用いて説明する活動を取り入れる。

2種類の郵送方法(A, B)の重さと料金の関係

中学校学習指導要領解説数学編

全体的な傾向

- 1 基礎的・基本的な知識の習得に関する問題の正答率が高く、定着しつつある。
- 2 新内容についての理解や、結果を分析・解釈する問題に課題がある。
- 3 実験データを適切に処理したり、結果をモデルで表現したりするなど、科学的な思考力・表現力に課題がある。

※ 例年正答率が比較的高いものと、正答率が40%以下のものをとりあげています。

Good!

基礎的・基本的な知識の習得

改善のポイント

改善のポイント1
科学に関する基本的概念の一層の定着を図る指導計画の充実

※ P18へ

改善のポイント2
観察、実験の結果を分析し解釈する学習活動の充実

※P18へ

改善のポイント3
科学的な概念を使用して考えたり説明したりする学習活動の充実

※P19へ

改善のポイント4
博物館や科学学習センターなどと積極的に連携、協力する学習活動の充実

※P19へ

大問	中間	小問	正答率	無解答	期待正答率	問題の内容	出題のねらい
1	(1)		24.8	0.4	40.0	①力のはたらき	おもりをつるしたときのばねの伸びを、グラフから読み取れる。
	(2)		94.1	3.1	70.0		ばねにはたらく力の大きさとばねの伸びは比例の関係にあることがわかる。
	(3)	①	15.4	10.0	40.0		おもりを水中に入れないときと入れたときのばねの伸びの差から、浮力を導き出せる。
		②	32.8	1.4	40.0		おもりを水中に沈めていくときのばねの長さの変化を表したグラフを描ける。
2	(1)		54.6	1.2	60.0	②電流と磁界	銅線に電流を流したときにできる磁界の向きを描ける。
	(2)		55.3	2.2	60.0		銅線に流れる電流の向きを変えたときの、銅線の動きを描ける。
	(3)		62.5	15.0	40.0		抵抗器にかかる電圧の大きさと電流の大きさの関係を、グラフに表すことができる。
	(4)		32.1	16.2	40.0		抵抗器を変えたときの、電流の大きさを求めることができる。
	(5)		37.8	27.7	40.0		磁界の中の電流にはたらく力が強くなった理由を説明できる。
3	(1)	①	46.4	18.1	50.0	③物質の性質	実験の結果から、物体の体積を導き出せる。
		②	26.0	3.1	40.0		密度を計算して、重い順に並べることができる。
		③	43.1	2.6	50.0		実験の結果から密度を求め、金属を特定できる。
	(2)		68.9	1.4	60.0		身近なプラスチック製品の特徴として正しいものを指摘できる。
4	(1)		66.5	7.7	50.0	④マグネシウムと酸素の化合	マグネシウム0.9gを十分に加熱したときに化合した酸素の質量を求めることができる。
	(2)		18.7	8.8	50.0		マグネシウムを加熱したときの反応を、モデルで表すことができる。
	(3)		45.6	27.2	40.0		マグネシウムの加熱と攪拌を繰り返した理由を説明できる。
5	(1)		87.5	1.1	80.0	⑤植物のなかま	被子植物と裸子植物を区別する観点を指摘できる。
	(2)		56.5	1.2	60.0		双子葉類の葉脈と根のようすを指摘できる。
	(3)		44.1	1.2	40.0		シダ植物とコケ植物の相違した特徴を指摘できる。
	(4)		48.3	1.7	50.0		双子葉類・合弁花類のなかまとシダ植物のなかまを指摘できる。
6	(1)		84.9	6.1	70.0	⑥動物のなかま	背骨のある動物を、「セキツイ動物」と定義できる。
	(2)		57.5	1.6	60.0		セキツイ動物の中から、魚類・両生類と、ハチュウ類・鳥類を区別できる。
	(3)	①	76.3	8.6	60.0		まわりの温度によらず体温を一定に保つことができる動物を、「恒温動物」と定義できる。
		②	63.7	1.6	60.0		セキツイ動物の中から、変温動物を区別できる。
	(4)		33.4	16.5	40.0		相同器官と進化の過程について理解している。
7	(1)		31.3	2.0	50.0	⑦地層	示準化石の説明として正しいものを指摘できる。
	(2)		48.5	10.9	50.0		石灰岩とチャートの見分け方がわかる。
	(3)		48.7	1.9	50.0		柱状図と等高線のようなから、地層が堆積した順序がわかる。
	(4)		40.8	2.1	50.0		柱状図と等高線のようなから、ある地点のある深さにある層を推測できる。
8	(1)		71.2	8.2	50.0	⑧空気中の水蒸気の変化	乾球温度計と湿球温度計の示度を用いて、湿度表から湿度を読み取ることができる。
	(2)		54.2	2.2	50.0		乾球温度計に比べて湿球温度計の示度が小さくなる理由を指摘できる。
	(3)		49.9	2.2	40.0		部屋をあたたためると湿度が下がった理由についての会話文の中から、正しいものを指摘できる。
9-A	(1)		71.1	2.5	70.0	⑨力のつり合い	二つの力がはたらく物体のようすを指摘できる。
	(2)		69.3	8.7	50.0		二つの力のつり合いの条件を理解している。
	(3)		55.0	3.0	50.0		斜面の角度を大きくしたときの、斜面上の物体にはたらく力のようすの変化を指摘できる。
9-B	(1)		55.7	19.1	60.0	⑩生物のふえ方	生殖細胞が受精することで子孫を残す生殖を、「有性生殖」と定義できる。
	(2)		64.6	3.3	60.0		親からの遺伝子の受け継ぎ方を理解し、子の遺伝子の組み合わせを指摘できる。
	(3)		53.6	3.2	50.0		孫の代に現れる形質の数の比を理解し、その数を指摘できる。

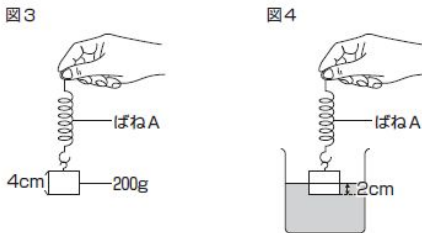
※ 改善のポイントの番号は福岡県の学力調査報告書に基づいています。併せて参照ください。

改善のポイント1 科学に関する基本的概念の一層の定着を図る指導計画の充実

問題

1 正答率：15.4%

(3) ばねAに図3のような200gの直方体のおもりをつけ、水を入れたビーカーの中に図4のようにしずめていき、おもりがビーカーの底につくまでの、ばねAの長さの変化を調べました。



① 図4のように、水面からおもりの底面までの距離が2cmのとき、ばねAの長さは12.5cmでした。このとき、おもりにはたらいっている浮力の大きさは何Nですか。

正答：ばねAは1Nで5cmのびる。図4の、ばねAののびは7.5cmであるため、おもりが受ける浮力は2.5cm分=0.5Nとなる。

やってみよう！1

※P20へ

誤答の分析

誤答の内容	
①	1.5Nとした解答が4.5%
②	その他の解答が70.0%
	無解答が10.0%

- ① ばねに働く力が浮力であると誤解している。
 ② (重力) - (水から受ける力) が浮力であることを理解していない。または、移行された新内容の履修が不十分である。

対策

- (1) 「浮力」や「イオン」などの新内容が年間指導計画に確実に位置づけられているか再度、確認する。
 (2) 「浮力」などの新内容を指導する十分な時間が設定されているか確認する。
 (3) 付加された新内容の指導を具現化する観察・実験が設定されているか確認する。
 ※ 移行された内容の新課程は、中学校学習指導要領の「移行措置関係規定」を参照

改善のポイント2 観察、実験の結果を分析し解釈する学習活動の充実

問題

3 正答率：26.0%

(1) 3つの金属A～Cについて次の実験を行い、それらの金属が何であるかを調べました。

- [実験] ① 金属A～Cのそれぞれの重さを、電子てんびんを使ってはかった。
 ② 体積をはかるため、右の図のように、80.0cm³の水を入れたメスシリンダーに金属A～Cをそれぞれしずめて、水面の位置の目盛りを読みとった。
 ③ それぞれの結果を表1にまとめた。

表1

	重さ[g]	水面の位置の目盛り [cm ³]
金属A	31.4	84.0
金属B	8.0	83.0
金属C	22.5	82.5



② 金属A～Cを同じ体積ずつ用意して、重さを比べるとどのようになりますか。重い順にA～Cを並べなさい。

正答：金属A: 31.4/4.0=7.85, 金属B: 8.0/3.0=2.67, 金属C: 22.5/2.5=9.0 これより、(C→A→B)

誤答の分析

誤答の内容	
①	A→B→Cと体積のみを比較した解答が5.8%
②	A→C→Bと重さのみを比較した解答が38.9%
	その他の解答が26.2%

- ① 物体の「体積」のみを比較している。
 ② 物体の「重さ」のみを比較している。または、密度が単位体積あたりの質量であることを理解していない。

対策

- (1) 体積の異なる鉄やアルミニウムなどの金属を準備し、それらの質量を測定する実験を行わせる。
 (2) 測定結果を表にまとめさせたり、グラフに整理させたりする。
 (3) 表やグラフに整理させた多くの実験データから共通点(規則性)を見いださせる。

やってみよう！2

※P20へ

改善のポイント3 科学的な概念を使用して考えたり説明したりする学習活動の充実

問題

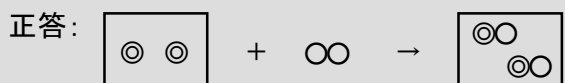
4 正答率：18.7%

[実験]

- ① マグネシウムの粉末0.3 gをステンレス皿にとり、右の図のようにガスバーナーで加熱した。
- ② 加熱後、ステンレス皿を十分に冷却し、物質をそのままステンレス皿の質量をはかった。



(2) 次の図の□に原子・分子のモデルをかき入れて、実験で起こった化学変化を表しなさい。ただし、マグネシウムの原子は○、酸素の原子は○で表すものとします。(答えは解答用紙にかくこと。)



誤答の分析

誤答の内容	
①	反応の前後で原子の数が異なる解答が34.0%
②	◎を連結して記述している解答が15.2%
	その他の解答が23.2%
	無解答が8.8%

- ① 化学反応式では、反応前後で原子の数が等しくなければならないことを理解していない
- ② 金属は分子をつくらないことを理解していない。

対策

- (1) 酸化や還元を原子や分子のモデルを用いて表現させる。
- (2) 反応する物質と生成した物質では構成する原子の組合せが変わることについて考察させる。
- (3) これまでに学習した科学的な概念を使用して考えたり説明したりする課題テストを行う。

やってみよう！3

※P20へ

改善のポイント4 博物館や科学学習センターなどと積極的に連携、協力する学習活動の充実

問題

7 正答率：31.3%

- (1) 図1のdで示される石灰岩の層には、フズリナの化石がふくまれていました。これについて説明した次の文の、ア～ウにあてはまる言葉の正しい組み合わせを、あとの1～4から1つ選んで、その番号を書きなさい。

アにすみ、限られた時代に栄えて絶滅した生物の化石は、地層が堆積した年代を特定することに役立つイ化石となる。フズリナの化石がふくまれていたことから、この層はウに堆積したと考えられる。

	ア	イ	ウ
1	せまい範囲	示相	中生代
2	せまい範囲	示準	古生代
3	広い範囲	示相	中生代
4	広い範囲	示準	古生代

正答：4

誤答の分析

誤答の内容	
①	選択肢1の解答が14.7%
②	選択肢2の解答が36.9%
③	選択肢3の解答が13.7%

- ① フズリナが示準化石であることや広い範囲で見られる化石であることを理解していない。
- ② 示準化石は広い範囲で見られる化石であることを理解していない。
- ③ フズリナが示準化石であることを理解していない。または、フズリナなどの実物を見たり触れたりしたことがない。

対策

- (1) 学校周辺の地域で、化石採集などの野外観察が可能な地域をHPや郷土資料等で調べる。
- (2) 実物の借用や専門的な講師の招聘が可能な施設をHP等で調べる。
- (3) 博物館や大学、企業等と連携した学習を取り入れた指導計画を立案する。

やってみよう！4

※P20へ

やってみよう！1

指導計画で新内容を再確認

■ 新課程を確実に履修させる。

- ① 第3学年単元「運動とエネルギー」における「力のはたらき」の学習に新内容として付加されている力の合成や分解を確認する。
- ② 付加された新内容の指導を具現化する観察・実験が設定されていることを確認することが重要である。

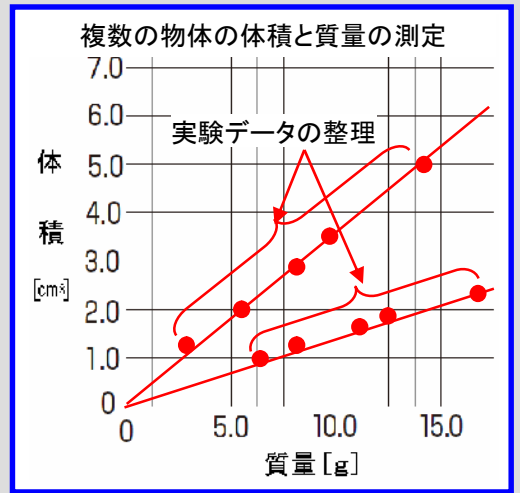
時期	章	項目	時数	項目の目標	観察・実験
4月	1章 力のはたらき	1 力のつり合い	1	2力がつり合うときの様子を調べる実験を行い、2力が釣り合うための条件を見いだす。	【実験1】「2力がつり合うときの条件を調べる実験」
		2 力の合成 A 同じ向きに働く2力の合成 B 異なる向きに働く2力の合成	2	2力の合力を調べる実験を行い、合力の求め方を見いだす。	【実験2】「向きが異なる2つの力の合力を調べる実験」 【操作】「平行線のかき方」
		3 力の分解	2	分力はその力の矢印を対角線とする平行四辺形の2辺で表されることを知る。	【実験】「ゴムを使って分力の大きさを体感する実験」

やってみよう！2

分析し・解釈させるための実験データの収集

■ 実験データの分析・解釈で科学的な思考力、判断力、表現力を身に付けさせる。

- ① 第1学年単元「物質のすがた」における「密度」の学習では、質量や体積の測定を複数回行ったり、複数の物体を測定させたりして、多くの実験データを収集させる。
- ② データを表にまとめたり、グラフに整理させたりする。
- ③ 整理した表やグラフから物体の共通点を見いださせる。
- ④ 実験データを分析・解釈させる上で、データの個数に注目させることは重要である。



やってみよう！3

科学的な概念を使用して考える課題テストの作成

■ 科学的な概念を使用する場面を設定することで科学の有用性を実感させる。

- ① 第1学年単元「身近な物理現象」の「圧力」の学習において、学習した内容を実生活の場面に適用して考えさせる課題を提示する。(右図参照)

図3のように、雪の上を歩くと、スキーぐつで歩くとよりスキー板をつけて歩くと、雪へのめりこみ方は少なくなります。この理由を、「圧力」、「面積」という2つのことばを用いて簡潔に書きなさい。



- ② 「圧力」や「面積」というキーワードを与え、それらの意味を正しく活用してスキー板の利点を説明できているかを評価する。
- ③ 実生活の場面を抽出し、科学的な概念を使って説明させる場面をつくり、テストを作成したりすることが重要である。

やってみよう！4

実物のよさを再発見させる出前授業等を企画

■ 実物に触れたり、専門家の話を聞いたりして科学への関心を高める。

- ① 理科の授業に活用できる県内の様々な施設の活用方法や活用例を探す。(右表参考)
- ② HP等の情報手段を利用して、関係機関と連絡調整を行う。
- ③ 関係機関等と連携した出前授業などを組み込んだ単元指導計画を作成することが重要である。

利用可能施設等	利用形態	活用例	申込み
福岡県青少年科学館 プラネタリウム	施設利用	「天体の動き」や「月の運動」等の学習を学校の希望に合わせてプログラム可能	電話
北九州市立自然史・歴史博物館 いのちのたび博物館	資料借用	「化石レプリカ作成キット」を借用して化石づくり体験	HP
福岡教育大学 「新・人材バンク」	出前授業	地球科学、生物学など「科学実験大学講座」を実施	HP
九州工業大学 理数教育支援センター	出前授業	「DNAと遺伝子」等の出前授業(北九州市・飯塚市内のみ)	HP
近畿大学 産業理工学部	出前授業	「汚れた水をきれいにする」等の科学実験講座を実施	HP
有明工業高等専門学校 地域共同テクノセンター	出前授業	液体窒素を使った科学実験授業を実施(南筑後地区のみ)	電話

全体的な傾向

- 1 キーワードを聞き取り、正しい絵を選択する問題への正答率が高い。
- 2 複数の英文を聞きとり、状況を把握するリスニング力に課題がある。
- 3 場面に応じた英文を書く力に課題がある。
- 4 英文を書くことで自分の考えや気持ちを表現する力に課題がある。

Good!

キーワードで正しく聞き取る

※ 4技能のうち比較的正答率がよかったもの、例年課題となっている部分をとりあげています。

大問	中間	小問	正答率	無解答	期待正答率	問題の内容	出題のねらい
1	(1)		95.7	0.2	90.0	①リスニング(対話内容)※	キーワード(交通手段)を聞き取り、正しい絵を選択できる。
	(2)		96.6	0.2	90.0		キーワード(過去の進行中の動作)を聞き取り、正しい絵を選択できる。
	(3)		87.5	0.2	75.0		キーワード(天気と時間帯)を聞き取り、正しい絵を選択できる。
	(4)		56.2	0.7	60.0		キーワード(物の説明)を聞き取り、正しい絵を選択できる。
2	(1)		84.0	0.3	65.0	②リスニング(対話文の応答)	対話の内容(いくらだったか)を聞き取り、適切な応答文を選択できる。
	(2)		61.9	0.4	60.0		対話の内容(Will you ~?)を聞き取り、適切な応答文を選択できる。
	(3)		61.4	0.4	60.0		対話の内容(だれが作ったか)を聞き取り、適切な応答文を選択できる。
	(4)		71.7	0.4	60.0		対話の内容(どちらが好きか)を聞き取り、適切な応答文を選択できる。
3			14.2	0.5	50.0	①リスニング(対話内容)※	対話の内容を聞き取り、見ようとしている映画を判断できる。
4	(1)		77.8	0.4	70.0	③長文の読み取り	手紙の内容(ナンシーが日本に来たときの季節)を把握することができる。
	(2)		77.8	0.5	70.0		手紙の内容(We were very happyの理由)を把握することができる。
	(3)		73.2	0.5	70.0		手紙の内容(母親に送った写真の人物名)を把握することができる。
	(4)		62.6	0.9	60.0		手紙の内容(ナンシーが何をもらったか)を把握することができる。
5	(1)		59.5	0.7	60.0	④文法・慣用表現の知識・理解	対話の流れ(ifを使った文)を理解することができる。
	(2)		75.9	0.7	60.0		対話の流れ(look+形容詞)を理解することができる。
	(3)		71.8	0.7	70.0		対話の流れ(助動詞must)を理解することができる。
	(4)		58.2	1.0	50.0		対話の流れ(現在完了形)を理解することができる。
6	(1)		64.0	0.8	60.0	⑤さまざまな英文の読み取り※	Eメールの主旨(知りたいこと)を理解することができる。
	(2)		59.8	1.4	50.0		アンケート結果の英文とグラフを正しく読み取り、意見の正否を判断できる。
	①		77.2	1.1	65.0		対話文の内容を理解して、空所に入る語を答えることができる。
	(3)	②	57.8	14.7	60.0		対話文の内容(I can'tのあとに省略されている内容)を把握することができる。
	(3)	③	65.1	1.5	55.0		会話と旅行のプラン表から、健太が発言すべき内容を判断することができる。
7	(1)		82.6	3.2	50.0	⑥単語の並べかえによる英作文	文法事項(受け身の文)を理解して、正しい語順で書くことができる。
	(2)		53.4	3.7	60.0		文法事項(There are ~の疑問文)を理解して、正しい語順で書くことができる。
	(3)		40.6	3.9	50.0		文法事項(不定詞の副詞的用法)を理解して、正しい語順で書くことができる。
	(4)		37.0	4.1	50.0		文法事項(SVOOの文)を理解して、正しい語順で書くことができる。
8	(1)		32.7	18.4	50.0	⑦場面に応じて書く英作文※	実生活の場面で、動名詞[不定詞]を使った表現を適切に使うことができる。
	(2)		40.8	23.9	50.0		実生活の場面で、比較表現を適切に使うことができる。
9			44.5	20.9	55.0	⑧20語以上の英作文※	与えられたテーマ「夏休みにしたこと」を明らかにして書くことができる。
			35.1	20.9	50.0		テーマにそって、つながりのある内容の英文を書くことができる。

改善のポイント1
概要や要点を正しく聞き取り、理解する学習活動の充実

※P22へ

改善のポイント2
文構造を理解できるようにするための学習活動の充実

※P22へ

改善のポイント3
場面に応じた英文を書くための学習活動の充実

※P23へ

改善のポイント4
自分の考えや気持ちを正しく伝えるための学習活動の充実

※P23へ

※ 改善のポイントの番号は福岡県の学力調査報告書に基づいています。併せて参照ください。

改善のポイント1 概要や要点を正しく聞き取り、理解する学習活動の充実

問題

正答率：14.2% 正答：3

3 放送による問題です。今から読まれる対話文は、ナオミとトムが映画館の前で、次の表を見ながら話しているものです。2人がこれから見ようとしている映画を、表の1～4から1つ選んで、その番号を書きなさい。英文は2回くり返します。

	映画のタイトル	上映開始時刻	上映終了時刻
1	Last Winter	10:30	12:30
2	Wonderful Life	11:10	1:10
3	Small Animals	11:25	1:25
4	The Happy World	11:40	2:40

Boy: Naomi, which movie do you want to see?
Girl: I wanted to see Last Winter, but we can't see it. It's eleven now. How about you, Tom?
Boy: Well, my friend Makoto said, "Wonderful Life is not interesting," so I don't want to see it.
Girl: I see. Well, I have to go home at two today.
Boy: OK. We can see this movie.

誤答の分析

	誤答の内容
1	Last Winter (38.1%)
2	Wonderful Life (42.8%)
4	The Happy World (4.4%)

- 「見たかったけど見られない」が理解できない。
- Wonderful Lifeは、Tomが「見たくない」と言っているのが理解できていない。
- Naomiは2時に家に帰らなければならないということが理解できていない。

やってみよう！1

対策

- (1) 単語と単語の音のつながりを聞き取ることができるようにする。
- (2) 接続詞のbutやsoに着目させ、文脈から後の内容を推測できるように英文を途中まで聞かせて、続く内容を日本語で考えさせた後に英文を聞き取らせる。
- (3) 情報を正確に聞き取ることができるよう、人物と発言内容を整理させる。

改善のポイント2 文構造を理解できるようにするための学習指導の充実

問題

正答率：37.0% 正答：
will give him something

7 次の対話文が意味の通る文になるように、()内の語を正しく並べかえて書きなさい。

(4) A: Ken's birthday is next Friday.
B: That's right. I (him / will / something / give).

誤答の分析

	誤答の内容
①	SVOOの語順となっていない(23.1%)

- 間接目的語と直接目的語の役割について理解できていない。
- 使用されている語の意味と文をつくるための語彙の順番について理解できていない。
- 未来を表す助動詞 will の用法について理解できていない。

<この問題でポイントとなる文構造>

主語＋動詞＋間接目的語＋
(～に) { 名詞 / 代名詞 }
(～を)

※1 文構造[主語＋動詞＋間接目的語＋直接目的語]の種類の一つ。
※2 他に、2つの目的語をとる動詞としてはgive, show, sell, teach, tell, write, send などがある。

対策

- (1) 文のしくみを意識させた上で、定期テスト後のやり直しノートを作成できるようにする。
- (2) 文法事項(文構造)を説明したあとに、間接目的語＋直接目的語の表現を用いたコミュニケーション活動を行う。
※ 左項※2に示した語を使わせながら、コミュニケーションが成立するやりとりを生徒ができるようにする。
- (3) 新しく学習した文構造を再度黒板に板書し、既習の文法事項等と比較できるようにする。

やってみよう！2

※P24へ

改善のポイント3 場面に応じた英文を書くための学習活動の充実

問題

正答率：32.7% 正答例：
She likes reading [to read] books

8 さやかは親友の舞(Mai)のことを、メール友達のボブに紹介します。次のメモをもとにして、あとの下線部(1)と(2)に適切な表現を英語で書きなさい。

【舞についてのメモ】

- ・だれにでも、とても親切。
- ・本を読むことが好き。
- ・クラスでいちばん背が高い。

【Eメール】

I'll tell you about my good friend, Mai.
She is very kind to everyone.

- (1) _____
(2) _____ in our class.

誤答の分析

	誤答の内容
①	つづりの誤り (0.5%)
②	3単現のSが抜けている (8.0%)
③	動名詞、不定詞の不使用 (11.8%)

- ① 必要な単語の正しいつづりを理解していない。
② 3人称単数現在の動詞の取扱いを理解していない。
③ 動名詞、不定詞の用法について理解していない。

やってみよう! 3

※P24へ

対策

- 語彙力を身に付けるよう、新出単語を含めた語彙力テストを活用する。
- 英語で表現できるよう、動詞や使用する語彙を変えながら、生徒の身近な場面における出来事や体験の一部を簡単な英文に書きかえる活動を行う。
- どの言語材料が必要か理解できるよう、日本語の文から考えられる単語やいくつかの英語表現等をカードにして黒板に提示し、その後必要な言語材料に導く。

改善のポイント4 自分の考えや気持ちを正しく伝えるための学習活動の充実

問題

正答率：35.1%

9 あなたは、英語の授業の課題で、夏休みにしたことについて書くことになりました。次の□の中の指示に従って、英語で書きなさい。

- ・20語以上で表現すること。(文の数はいくつでもよい。)
- ・夏休みにしたことがわかるように書くこと。
- ・そのときの感想なども含めて書くこと。

正答例:

I went to Okinawa with my family. I enjoyed swimming in the sea.
The sea was very beautiful. I want to visit Okinawa again.

誤答の分析

	誤答の内容
①	20語未満である (28.6%)
②	無解答 (20.9%)

- ① 20語以上で表現する語彙力や思考力、表現力、意欲が不足している。
② 夏休みにしたことをどのように英文にしたらよいかわからない。
② 感想などをどのように付け加えてよいかわからない。

対策

- 既習の文法事項で表現できるよう、ヒントカードとして文法事項を示し、生徒が気付けるようにする。
- より適切な言語材料で表現できるよう、複数の英語表現から選択させながら表現させ、適切な表現の根拠を生徒に考えさせるようにする。
- 自分が感じたことや思ったことを簡単な英語で表現する学習を家庭で行わせる。

やってみよう! 4

※P24へ

やってみよう！1 語の連結を取り入れた指導法

■ 語と語の連結による音変化に慣れさせる練習をする。

- ① フラッシュカード等により連結する語句を文字として認識できるようにする。
- ② 単語で発音した場合と連結させて発音した場合の変化に気付かせる。
- ③ 連結した語句を取り入れた英文を練習問題として作成し、その文をALTが読みリスニングを行う。

<2語が連結する場合>

an apple, get on, put it, take it

<連結により音が脱落する場合>

What time is it?, not to, should be

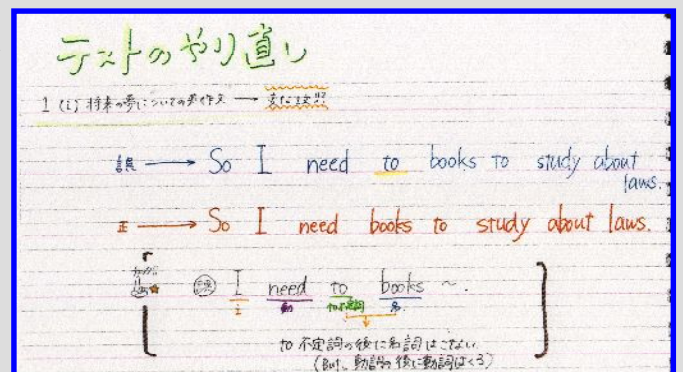
<連結により二つの音が同化する場合>

have to, don't you, give me

やってみよう！2 生徒が自分の誤りを分析するノートの活用法

■ 正しい文法事項やポイントを理解できるように、生徒が自分で解説を加えたノートをつくる。

- ① テストで間違った問題をノートに写すように指示する。
- ② 誤答と正答の両方を書くように指示し、違いがわかるよう工夫することを促す。
- ③ なぜ間違った答となったのか、あるいは、正答に関する解説等を生徒自身のことばで解説させるようにする。



やってみよう！3 語彙の定着を図る確認テストの活用法

■ 新出単語を含む例文をもとに、一部を変更して別な意味になる文を作る語彙力テストを実施する。

- ① 新出単語を学習した後のテストでは、その単語のみを書かせるのではなく、新出単語を含む例文を出題する。
- ② 新出単語を用いて、例文を自分の考えで一部を変更する。
- ③ 変更ができなかった場合は、単語の意味が理解できなかったか、文構造が理解できなかったかを確認する。生徒の使用した語彙等を板書する。

<太字が新出単語の場合>

(例文として出題)

- ① This is an **interesting** book.
- ② I **will** go to the library tomorrow.

(生徒が変更)

- ① This is an **interesting** picture.
- ② I **will** go to Tokyo next month.

やってみよう！4 家庭学習として自己表現活動の導入

■ 家庭学習として英文で自己表現を実施する。

- ① 福岡県学力実態調査の過去問題等を活用し、家庭学習として英語で自己表現活動を定期的に位置づける。
- ② 英語教師やALTにより英文の添削、評価を行い、生徒へのフィードバックを行う。
- ③ フィードバックをもとに、辞書等を活用し、再度書き直しを行わせることで自己表現活動の充実を図る。

4

次の 内の問いかけに対し、あなたはどのように答えるか。英語で書きなさい。文の数はいくつでもよい。ただし、【条件】を満たすこと。

Have you ever used the Internet?

【条件】

- ① 25語以上の英語を用いること。
- ② Yes または No で書き始めること。

5

次のアとイの質問のどちらか1つを選び、その質問に対する答を、理由を含めて英語で書きなさい。文の数はいくつでもよい。ただし、25語以上の英語を用いること。

- ア What do you like to do at your school?
イ What do you like to do at home?